

森・川・海とひとが共生する安らぎのまち

みやこ 市議会だより

2011

平成22年度

3月議会

No.24

議長挨拶

議長 前川 昌 登

この度の大震災により亡くなられた方々に市議会を代表してご冥福をお祈りしますと共に、被災された方や今なお避難所暮らしをしておられる方に改めてお見舞い申し上げます。

現在、市議会では復興対策特別委員会を設置し、一日も早く復旧し復興を果たしていくよう国や県、関係団体に働きかけをしているところです。市民各位もかつて経験した事のない悲しみと苦しみを余儀なくされていると思われますが、市民一丸となって新しい宮古市の復興を信じて頑張ってください。

今回の議会だよりは震災に鑑み、ダイジェスト版といたしましたので、ご了承を願います。

今後とも市民皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成23年度一般会計予算を可決	2 P
一般質問質疑応答	3 P
平成23年度臨時会一般会計補正予算可決	4 P
宮古市東日本大震災後復興本部条例可決	4 P
議員による宮古市復興対策特別委員会設置	4 P
編集後記	4 P

平成 23 年度 一般会計予算

302億5,500万円

総額 497億197万5千円

予算集計表（一般会計・各特別会計）

（単位：千円・％）

会 計 別	予 算 額	伸 率
1 一 般 会 計	30,255,000	△ 0.7
2 特 別 会 計	14,740,202	2.8
国民健康保険事業勘定特別会計	7,883,264	△ 0.2
国民健康保険診療施設勘定特別会計	804,852	0.6
後期高齢者医療特別会計	546,336	5.4
介護保険事業特別会計	5,116,886	7.2
介護保険サービス事業勘定特別会計	9,775	1.8
農業集落排水事業特別会計	30,230	8.0
漁業集落排水事業特別会計	60,514	△ 2.7
浄化槽事業特別会計	196,209	7.7
魚市場事業特別会計	72,884	42.5
墓地事業特別会計	3,992	5.2
川井地域バス事業特別会計	13,289	△ 0.8
山口財産区特別会計	265	△ 1.9
千徳財産区特別会計	265	△ 75.1
重茂財産区特別会計	65	0.0
刈屋財産区特別会計	1,376	△ 0.1
3 公 営 企 業 会 計	4,706,773	10.2
水道事業特別会計	1,980,545	18.3
下水道事業特別会計	2,726,228	5.0
計	49,701,975	1.3

一般会計款別歳出予算

（単位：千円・％）

会 計 別	予 算 額	構成比
1 議会費	228,390	0.8
2 総務費	3,525,454	11.6
3 民生費	8,714,338	28.8
4 衛生費	2,076,214	6.9
5 労働費	323,459	1.1
6 農林水産業費	1,358,323	4.5
7 商工費	1,056,851	3.5
8 土木費	3,130,204	10.3
9 消防費	1,672,852	5.5
10 教育費	4,122,802	13.6
11 災害復旧費	1	
12 公債費	4,026,111	13.3
13 諸支出金	1	
14 予備費	20,000	0.1
歳 出 合 計	30,255,000	100.0

3月定例会は、2月18日から3月11日まで開かれ、議案55件を審議しました。産業・教育立市の実現を目指した予算は、特別会計、公営企業会計とも原案どおり可決されました。

宮古市平成23年度一般会計予算は、議長を除く全議員による予算特別委員会慎重に審議された結果、総額は302億5,500万円（前年度比0.7%減）となりました。編成に当たっては、これまでの財政健全化の努力を継続し、経済状況やマニフェストを踏まえ、予算の重点的かつ効率的な配分を行っています。

宮古市医師等要請奨学資金貸付条例では償還をめぐり議論が噴出しましたが、原案どおり可決されました。

可決された主な条例

- ☆宮古市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例
- ☆宮古市グリーンピア三陸みやこ条例の一部を改正する条例
- ☆宮古市議会の議員報酬及び費用弁償等の一部を改正する条例
- ☆宮古市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ☆宮古市医師等養成奨学資金貸付条例

三月議会一般質問

（2月25日～3月2日）

震災により経費削減を図る意味から項目のみの掲載と致しましたのでご了承願います。

松本尚美 議員

問JR旅行キャンペーンは、答好機なので積極的にを行う。
問藤原港湾の再生は、答様々な角度から協議する。

中嶋 榮 議員

問公共建築物等の木材利用を、答積極的に地域産材を利用。
問木材利用法の制度推進は、答可能な限り利用を図りたい。

伊藤 清 議員

問ラジコンヘリの薬剤散布は、答有効と考えるが慎重に。
問農林業のシカ被害の防止は、答解消のため狩猟者を確保。

崎尾 誠 議員

問第5期介護保険計画課題は、答保険料増額、避けられない。
問公契約条例の制定を、答国・他自治体の動向を注視。

田中 尚 議員

問借入は上限を設けて抑制を、答交付税制度があり困難。
問交通体系の整備を、答山田線ダイヤ改正・増便を。

橋本久夫 議員

問災害情報の受発信体制は、答防災計画により体制構築。
問防災計画により体制構築、答ブロードバンド整備状況は、答民設民営を基本とし協議。

加藤俊郎 議員

問田老の戸別受信機継続使用を、答東北総合通信局と協議中。
問積極的な自主防災組織への援助を、答防災ネットワークづくりをする。

北村 進 議員

問宮古市教育行政方針は、答読書活動支援員2名配置。
問フルボ酸鉄日本一宣言を、答生態系維持の視点で考える。

古館章秀 議員

問畜産振興について、答飼料作物生産に支援を。
問道の駅に自家発電を、答災害時のために整備する。

内館勝則 議員

問市制の基本姿勢と行財政は、答構造改革大綱で取り組む。
問宮古市の森林対策は、答森林保育を集約化する。

藤原光昭 議員

問山ブドウ特区の認定を、答先進事例等を参考に検討。
問紫蘇の塩蔵加工整備は、答計画されたが見送りに。

落合久三 議員

問魚市場態勢の強化を、答狭隘化、作業動線の交錯。
問産業振興部は配置見直しを、答4月に商工観光課を本庁に。

高橋秀正 議員

問医師確保の施策を示せ、答「養成奨学金制度」を制定。
問崎山貝塚縄文の森見直しを、答見直しは考えていない。

坂本悦夫 議員

問末広町通りの基礎整備を、答地域と前向きに検討。
問計画では道幅が17mだが、答車線・歩行環境を確保の為。

宇都宮 勝幸 議員

問大津波時の通行止め区域は、答広報等で市民に周知する。
問消防団の役割と将来像は、答地域住民のニーズに対応。

茂市敏之 議員

問リフォーム補助の継続を、答来年度も継続を実施する。
問再利用の可能性は、答一度限りとしたい。

横田有平 議員

問竜崎防波堤工事進捗率は、答73%で早期完成を要望。
問重茂診療所医師不在への対応は、答宮古病院と医療局で検討。

坂下正明 議員

問孤独死防止対策について、答ネットワーク機能強化を。
問中心市街地の活性化は、答中小企業診断士が指導。



4月臨時会

平成23年度

一般会計補正予算

宮古市議会4月臨時会は4月15日に開催されました。今般議会は、3月11日の東日本大震災被害を受けたことから、災害弔慰金や復旧作業に要する経費など45億2千7百65万6千円の補正予算が提案されました。

いずれも、東日本大震災にかかわる暫定的なもので、かつてない大型補正予算が審議され原案どおり全会一致で可決されました。

主な内容は、歳入では、地方交付税24億4千35万6千円、県支出金13億1千3百50万円、基金繰入金7億7千3百80万円。

歳出では、総務費1千61万円、民生費22億1千9百37万8千円、衛生費16億3千7百54万6千円、農林水産業費5千76万3千円、商工費1億2千9百12万4千円、土木費2百49万4千円、消防費2千4百49万4千円、災害復旧費4億3百74万1千円、予備費5千万円で、主な内容は下表のとおりです。

歳入

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	摘要
地方交付税	12,398,000	2,440,356	14,838,356	特別交付金（震災特例交付金）
県支出金（県負担金）	1,916,288	1,313,500	3,229,788	災害弔慰金等
繰入金（基金繰入金）	634,936	773,800	1,408,736	財政調整基金繰入
補正されなかった款項の額	15,305,776		15,305,776	
歳入合計	30,255,000	4,527,656	34,782,656	

歳出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	摘要
総務費	3,525,454	10,610	3,536,064	自動車等賃借料、備品購入ほか
民生費	8,714,338	2,219,378	10,933,716	災害弔慰金、災害救助費ほか
衛生費	2,076,214	1,637,546	3,713,760	支障物除去業務委託料ほか
農林水産業費	1,358,323	50,763	1,409,086	魚市場等災害復旧繰出金ほか
商工費	1,056,851	129,124	1,185,975	被災中小企業者補助金ほか
土木費	3,130,204	2,494	3,132,698	自動車等賃借料
消防費	1,672,852	24,000	1,696,852	非常備消防消耗品費
災害復旧費	1	403,741	403,742	公共土木施設災害復旧費、農林水産業施設災害復旧費 厚生労働施設災害復旧費、文教施設災害復旧費、その他公共施設・公用施設災害
予備費	20,000	50,000	70,000	
補正されなかった款項の額	8,700,763		8,700,763	
歳出合計	30,255,000	4,527,656	34,782,656	

宮古市東日本大震災復興 本部条例を可決

東日本大震災により重大な被害を受けた生活基盤及び都市基盤を早急に復旧し、市民生活を守るため、宮古市東日本大震災復興本部条例が可決されました。

議員による宮古市復興 対策特別委員会を設置

東日本大震災による被害の復旧及び復興に向け、調査・研究・提言を行うため、宮古市復興対策特別委員会が設置されました。

委員会構成は次の通りです。
(各常任委員会から3名を選出しました。)

田中尚	加藤俊郎	落合久三	茂市敏之	須賀原チエ子	近江勝定	中嶋榮	横田有平	藤原光昭	工藤小百合	崎尾誠進	北村進
-----	------	------	------	--------	------	-----	------	------	-------	------	-----

編集後記

◇東日本大震災で尊い人命を失われた方にはお悔やみと被災された方には心よりお見舞いを申し上げます。心の痛みは容易に癒されるものではありませんが、頑張っていたのだと思います。

◇議会ではあらゆる方面で、調査検討をし一日も早い復興に資するため特別委員会を立ち上げました。委員は12名ですが、全力を尽くして所期の目的を達成致します。

◇震災当日は議会開会中でしたが、津波は船もろとも堤防を乗り越え印刷会社も押しつぶしてしまいました。この状況下、印刷の入札も出来ず、また配付体制も整わないので休刊も考えましたが、23年度予算は3月議会で認定されていることや、4月15日の臨時会では震災に係る補正予算が承認されたことなど、合わせて報告すべきとの判断により発行します。

なお、費用の削減も図る意味からダイジェスト版とさせていただきますので、ご了承ください。

(委員長 横田有平)